



活動日誌

- 4月16日 調査報告 第2次甲賀市総合計画（第3期基本計画）たたき台
令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ/地方創生推進拠点整備タイプ）の採択、同交付金（デジタル実装タイプ）の採択、甲賀市投票区域編成審議会の答申など
- 5月15日 調査報告 第2次甲賀市総合計画（第3期基本計画）たたき台、甲賀市地域情報基盤施設の民間移行の検討
公開型GISの運用開始、第5次甲賀市行政改革大綱策定方針など
- 6月24日 報告 地域リーダーの皆様との意見交換会
国・県の施策に対する要望
令和6年度甲賀市表彰式

所管事務調査

第2次甲賀市総合計画 （第3期基本計画）たたき台

第2次甲賀市総合計画の第3期基本計画（令和7年度～10年度・4年間）策定たたき台が示されました。

第3期基本計画は、基本構想未来像「あい甲賀、いつもの暮らしに『しあわせ』を感じるまち」を実現することを目指しています。

◇「子育て・教育」「地域経済」「福祉・介護」を第1・2期に続き、施策体系のテーマとして取り組みます。
第2期基本計画で追求してきた「新しい豊かさ」をこの4年間で更に深化させ、全市民が「叶えたいライフスタイル」を実現、確立出来るように、「新しい豊かさ」を実現するための10の視点をリニューアルし進めます。

新しい豊かさ×20分野64施策

Q 第2期で掲げ進められた「新しい豊かさ」は市民にどれほど伝わり、又、市民が本当に感じておられるのか。

A 「新しい豊かさ」という言葉自体は抽象的な部分で難しいところ

もあるが、どういったことが「新しい豊かさ」なのかといった議論を進めていく必要があると考えている。

Q 人口減少の傾向は止められない。人口が減っても暮らせるような地域づくりは。

A 人口減少の本市の状況は、旧5町の中でも人口減少の地域の進み具合に差異があり、人口を増やせる地域、難しい地域に即した攻めの施策、守りの施策を講じて、人口確保、市全体の行政サービスの水準を維持していきたいと考えている。

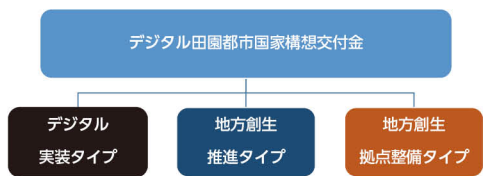
地域情報基盤施設の民間移行の検討

市の地域情報基盤施設は当初整備に約40億円、近年の維持管理に年間約2億円の支出を行い、現状の体制を続けた場合には、今後15年間の維持管理に約40億円以上、更に光ファイバケーブルの大規模更新に約30億円以上の経費負担が想定されています。情報通信技術が一層高度化し、国等の支援も無い中、市として必要な巨額の財源確保は不可能と考えます。情報通信分野における利用者ニーズや技術革新への対応、更に持続

可能な「自治体経営」のためには、国が推奨する「民間移行」に向けて検討を進めます。併せて、関連する第三セクター「㈱あいコムこうか」についての今後の方向性、課題についても検討するとの説明がありました。

報告事項

令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ／地方創生推進拠点整備タイプ／デジタル実装タイプ）が採択されました。



○地方創生推進タイプ

5千958万6千円

○地方創生推進拠点整備タイプ

6億4千654万2千円

○デジタル実装タイプ

559万6千円

常任委員 厚生文教委員会

活動日誌

- 4月11日 調査 レイモンド甲賀こども園開園に伴う周辺道路環境視察、公私連携型認定こども園3園の運営状況など
報告 乳幼児教育・保育の指針、学校教育の指針、みなくち診療所の診療開始など
- 5月15日 調査 第2次総合計画(第3期基本計画)たたき台、第2次小中学校再編計画に係る策定方針(案)、市内保育園・認定こども園の運営状況など
報告 甲賀地域包括支援センターの運営業務委託、新型コロナウイルス感染症対策の振り返りなど
- 6月20日 報告 「働き教育センター甲賀」の閉鎖、「青少年活動安全誓いの日」条例に伴う事業実施計画など

所管事務調査

レイモンド甲賀こども園開園に伴う周辺の道路環境の現地視察

4月11日午前8時から、周辺道路環境の安全性に関する現地視察を実施しました。開園に伴って、通行する送迎車両が増加し、一時的に数台が渋滞する場合も見られました。今回、確認された課題等については、関係機関に対して、可能な限り対応を求めます。



第2次小中学校再編計画に係る策定方針について

平成27年3月に策定した「甲賀市幼保・小中学校再編計画」が令和6

年度に終期を迎えることから、市の

教育方針や教育目標等に沿い「第2次甲賀市小中学校再編計画」を策定します。計画期間は、令和7年度から令和16年度までの10年間とし、令和11年度に見直しを行います。

Q 段階的な再編とはどのように考えているのか。

A 現行の再編計画を最終目標とするが、選択肢の一つとして段階的な再編も考えている。

Q たたき台は教育委員会が作成するのか。また、その場合は多角的な視点をもって作成すべきだ。

A たたき台は教育委員会が作成するが、地域づくりの観点からも市長部局と連携したい。また、作成にあたっては、居住区域、通学なども含めて考える必要があると認識している。

報告事項

新型コロナウイルス感染症対策の振り返りについて

現在も感染症の流行は続いており、再度の流行も懸念される状況ですが、報告書を作成し、「本市の感

染状況」・「これまでの主な取組と課

題、今後の対応」・「アフターコロナにおける新しい豊かさを求めて」で構成しています。

Q 県でも中間報告を出されたが、本報告書作成の位置づけは。

A 以前に議会へも振り返りを報告するとしていたことから、市として中間総括をまとめた。

Q 本報告書における記載はないが、罹患後症状(いわゆる後遺症)に対する考えは。

A 県からの情報も収集しながら必要な取組を検討していきたい。

「甲賀市青少年活動安全誓いの日」条例に伴う事業実施計画

平成19年7月31日、教育委員会実施の野外体験講座において、小学生お二人の尊い生命を奪う重大な事故を起こしました。その後制定された条例の趣旨等に基づき、①青少年活動指導者等を対象とした研修の場、②市民への広報・啓発、③市職員の安全な活動に対して認識する機会の3つを中心に取り組み、今年度は市内の小中学生を対象として「ライフジャケット体験講座」を実施。

常任産業建設委員会

活動日誌

- 4月19日 調査 市道災害復旧事業 現場視察
報告 信楽町長野地域における官民連携エリアリノベーション事業、第3次甲賀市環境基本計画に係る策定方針など
- 5月23日 調査 第2次甲賀市総合計画（第3期基本計画）、貴生川駅周辺特区構想の経過と現状
報告 第2次甲賀市水道ビジョン（中間見直し）策定方針、カーボンニュートラル推進事業の実施状況など
委員会協議会 甲賀市女性の活躍推進事業について
- 6月21日 委員会協議会 委員会視察について



市道南土山・神線の復旧現場

所管事務調査

市道災害復旧事業現場視察

令和4年8月17日の豪雨により、法面崩壊が発生した「市道南土山・神線」、令和5年6月2日の豪雨により、ブロック積擁壁が倒壊しました。「市道漆谷中山谷線」について、現場視察により災害復旧事業の実施状況を確認しました。

いずれも大型かご枠工等により、法面が補強され、3月末に通行止めが解除されることになりました。

第2次甲賀市総合計画（第3期基本計画）

産業建設常任委員会の所管施策について意見を出しました。

それぞれの施策について、目標との関係で成果指標や成果がより分かりやすいものにすべき。

成果内容について、実態、傾向、変化をかけることが好ましいが、抽象的になる部分は、実際の行動を記載している。

貴生川駅周辺特区構想の経過と現状

経過と現状

貴生川駅周辺整備事業を進めるにあたり、基本構想を策定して、貴生川駅南口の整備や官民連携のまちづくりについて検討が進められています。

昨年、一昨年の社会実験をうけて、基本構想や基本計画などに影響を与えたものは何か。

広場の必要性、緑がある広場空間が必要であることを認識して、基本計画の中で重視する。

今年度は、貴生川エリアプラットフォームを中心にしたまちづくり会社準備会を設置とあるが、どのように進めてくのか。

ビジネスとして成り立つかどうかを検証しながら、まちづくりの在り方を検証していく。

報告事項

信楽町長野地域における官民連携エリアリノベーション事業について

多くの信楽焼窯元が集積する信楽町長野地域において、空き家や空き工場、空き店舗等を官民連携事業として活用するものです。

信楽焼産地の振興をベースにする事業なら、観光寄りになるのではなく、人材問題が解決できるものを。

信楽焼振興においては、後継者の育成を一番に考え、人材育成、人材確保に注力している。空き家をリノベーションして、創作の拠点とすることや、収益性の高い宿泊、飲食事業に取り込んでいくことにより、多様なクリエイターが滞在・創作できる状況を目指していきたい。



広報広聴委員会 広聴部会 視察研修

派遣期間

令和6年5月28日～29日

派遣場所

●三重県いなべ市

●兵庫県西脇市

出席委員

広報広聴委員会広聴部会委員

11人

調査概要

今後の部会方針策定のため、とりわけ広聴活動に熱心な先進議会2カ所の視察を行いました。

5月28日は三重県いなべ市議会を訪問しました。ここでは日本生産性本部の『地方議会成熟度評価モデル』を導入した議会改革に取り組んでいる他、主要SNSや動画チャンネルも設けており、走り出してから考える議会の積極姿勢が印象的でした。

翌日は「議会改革度調査」で全国総合1位（2019年）を獲得された兵庫県西脇市議会を訪ね、



年40会場以上、2年で全80自治会において開催されている議会報告会に加え、各種団体を対象に始めた「課題懇談会」について伺いました。広聴活動を政策提言につなげていく過程など参考にしたいものです。

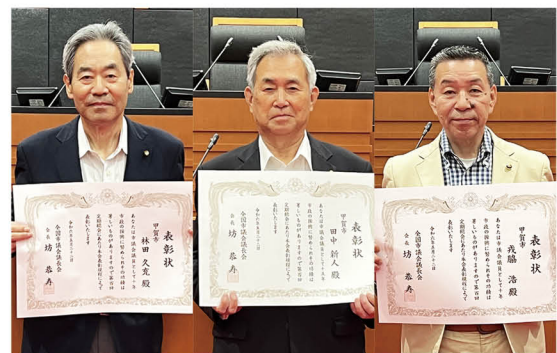
令和6年度 名神名阪連絡道路整備促進 甲賀市議会議員連盟通常総会

【議事】

- 規約の改正
 - 役員の選任
 - 令和5年度事業報告・収支決算報告
 - 令和6年度事業計画(案)・収支予算(案)
- 滞りなく承認・可決しました。



議員表彰



左から、林田議員、田中議員、戎脇議員

全国市議会議長会第100回定期総会において、甲賀市議会から3人が表彰されました。

在職15年	田中	新人	議員
在職10年	林田	久充	議員
	戎脇	浩	議員

※在職10年の田中將之議員は辞退。